

# 岩屋だよりー4号

2011年(平成23年)10月吉日

長崎市内では、10月7～9日、伝統の祭りで日本三大祭りの一つといわれる「長崎くんち」が盛大に開催されました。

諏訪神社からの御輿のお下りやお上りとともに、7ヶ町の踊り町が繰り出す出し物はそれぞれの町毎の工夫と、6月1日の小屋入り以来続けてきた稽古の成果が披露される晴れの舞台でもあるわけです。

報道によれば、例年の人出約20万人を大きく上回る25万人が訪れたとか、筆者も最後の9日に用事で街に出かけたが、浜んまちのアーケード内を抜けて待ち合わせ場所まで行くのに、折から中通り方面からアーケードに向かっていった樺島町の太鼓山(コッパシヨ)見物待ちの人々で身動きができない状況でした。

今年は、天気にも恵まれたこと、金曜日～日曜日とカレンダー上も休日とうまく重なったこと、それに前述の太鼓山など勇壮な出し物が多かったこともあって、このような賑わいになったのではと自分なりに分析してみました。

翌10日は体育の日、恒例の諏訪体育館武道場で行われた市民レクリエーションの一つである合気道の演武大会に長崎北道場も3組参加しました。

森脇裕司と田中侑 吉田強と森脇裕司 野瀬耕一と田中侑 の3組がそれぞれに日頃の成果を発揮すべく、迫力迫る演武を披露することができました。

また、北道場の会員も多数見物、応援に駆けつけてくれ、道場が一体となった一日でした。

なお、見学は浜田親子、早瀬川、笠井、古屋、田中、大平、池田の各氏、特に大平、池田両氏は、演武終了後の道場一同での恒例の昼食会に出席できないにもかかわらず応援ありがとうございます。



今年の秋は、いろいろと当道場にとっても動きが多い年になりそうです。

このことは、また別の機会に近々当道場のホームページとかを活用して皆さんにはお知らせする予定ですが、いずれにしても現在当道場は、一般会員33名、小学生以下の会員が17名、合計で約50名のそこそこの道場ではあります。

悩みといえば贅沢かも知れませんが、若手の会員がなかなか増えないこと、それに市内北部の市立中学校内の武道場をお借りしていることから、学校の行事等で武道場が使えないこともあり、その時は一斉メールによる連絡網で休みとなることを周知することになっている。

しかし、稽古は道場だけでなく、熱意と工夫があればいつでも、どこでもできるものであり、どうか各人前向きで修行を積んでいただきたい。

昨今は、少し若手の会員、それに空手や他の流派での合気道を極めてきた会員も入会し、一段と活気が満ちつつある。どうかどなたも、有意義な実りの秋を迎えていただきたい。



長崎市郊外、植木の里で知られる古賀の一画にある  
仰仙閣の紅葉（なにも遠方まで行かなくても11月末の  
紅葉時期には解放する予定なので、是非一度ご覧下さい）  
一見の価値あり！

**「秋深き 隣は何を する人ぞ」 松尾 芭蕉**